

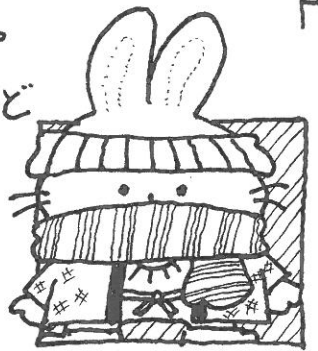
とうとう 2月を迎えてしまいました。

明日から 42日目が 年長児たちにとっての卒園の日となります。

今の所、就学へ向けてのうれしい気持ち先行しているようですが、3人の担任とこれ迄に係わりのあったスタッフ達の表情からは複雑な想いがある事が観てとれます。

■年長児たち、それぞれのクラスで卒園式で唄う曲の練習がはじまります。4曲を唄います。歌詞の内容が分かりはじめると、こどもたちも複雑な想いを持っことでしょう。

でも、今のところは、ほとんどが「一年生になるんだ!!」と言ううれしい気持ちに満ちあふれております。



■年少児たち 年中児たちはまだ進級という意味と分かっていないのがほとんどです。

「バッチの色が変わるんだよ!」に「キョトン!!」ですが、上の学年のバッチの色を指すと「ポッ!」とほっぺを赤くします。その内に本当に分かってきて、ワクワクすることでしょう。

■ つばみのおとこたちの中には、スタッフたちが「さうさく!」年少さんになるんだよ!!」と言っても全く反応なしのおとこたちが沢山ですが、説明会でもらったクラスバッチ、制服・制帽を見て、小さな心が踊るのかも知れません。

心の育ち

教師が「注目!!」と言うと「ハイ!!」と返って静かになる。

「集合!!」と言うと「ハイ!!」と一斉に集まる。

「小さい前ならえ!!」と言うと「ハイ!!」と男女別に背の順に並ぶ。

46年前に本園を開園した際、青空の下で思い切り体を使ってあそませて体力づくりをと計画しました。

壁も、天井も、床も無い真駒内公園の芝生での活動を頭に置いた時、一番先に頭をぶつけたのはこどもたちの安全でした。

こどもたちの安全を考えると、どんな状況にあっても教師のひと声でクラスのこどもたちが、その指示にテキパキと反応してくれなければなりません。

年長組のこどもたち、聞く力をしっかりと身に付けました。聞いて何をすべきかすくにも対応します。

3クラス 100人が5人の引率で、地下鉄で札幌駅まで行き、エレベーターで日映画館へ、静かに入館し、笑って泣いて喜んで、静かに出て来たことがありました。

こどもたち ひとりひとりの心がしっかりと育ったからこそ出来たのです。